

事 業 概 要

令和2年度版



東京都立図書館

令和2年7月

事業概要 令和2年度版

目 次

I	組織概要	
1	東京都立図書館運営方針	1
2	東京都立図書館運営組織図	3
3	東京都立図書館事務分掌	4
II	主要事業	
1	令和2年度 主要事業	5
2	令和元年度 主要事業報告	6
III	予算・決算	
1	令和2年度 予算	9
2	令和元年度 決算	10
IV	統計資料（令和2年3月31日現在）	
1	所蔵状況	11
2	オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3	図書館資料収集・整理統計	13
4	利用統計資料（令和元年度実績）	14
(1)	利用状況	14
(2)	登録利用者数	15
(3)	レファレンス件数	15
(4)	書庫内資料利用冊数	16
(5)	情報リテラシー支援件数	16
(6)	政策立案支援サービス件数	16
(7)	特別文庫室利用状況	17
(8)	音声・映像資料利用状況	17
(9)	視覚障害者等サービス状況	17
(10)	協力貸出状況	17
(11)	多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12)	ホームページ利用状況	18
(13)	多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V	事業実績（令和元年度）	
1	展示等の事業（展示・講演会等・映画会）	19
2	区市町村立図書館職員等への研修等	25
3	学校教育活動への支援事業	26
4	職員研修等	28
5	刊行物及びホームページでの情報提供	29
VI	所蔵コレクションの紹介	
1	中央図書館	30
(1)	特別文庫室資料	(2) 東京資料
(3)	海外資料	
2	多摩図書館	32
(1)	山本有三文庫	(2) 雑誌創刊号コレクション
(3)	児童・青少年資料	
VII	東京都立図書館協議会	33
VIII	資料	
1	東京都立図書館館則	35
2	東京都立図書館沿革	38
3	図書館関係団体・組織一覧	42
4	東京都立図書館ネットワーク概念図	43
5	東京都立図書館シンボルマーク	44
6	ホームページ及びソーシャルメディア	44
7	フロア概要	45
(1)	中央図書館	45
(2)	多摩図書館	48
8	案内図	50

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

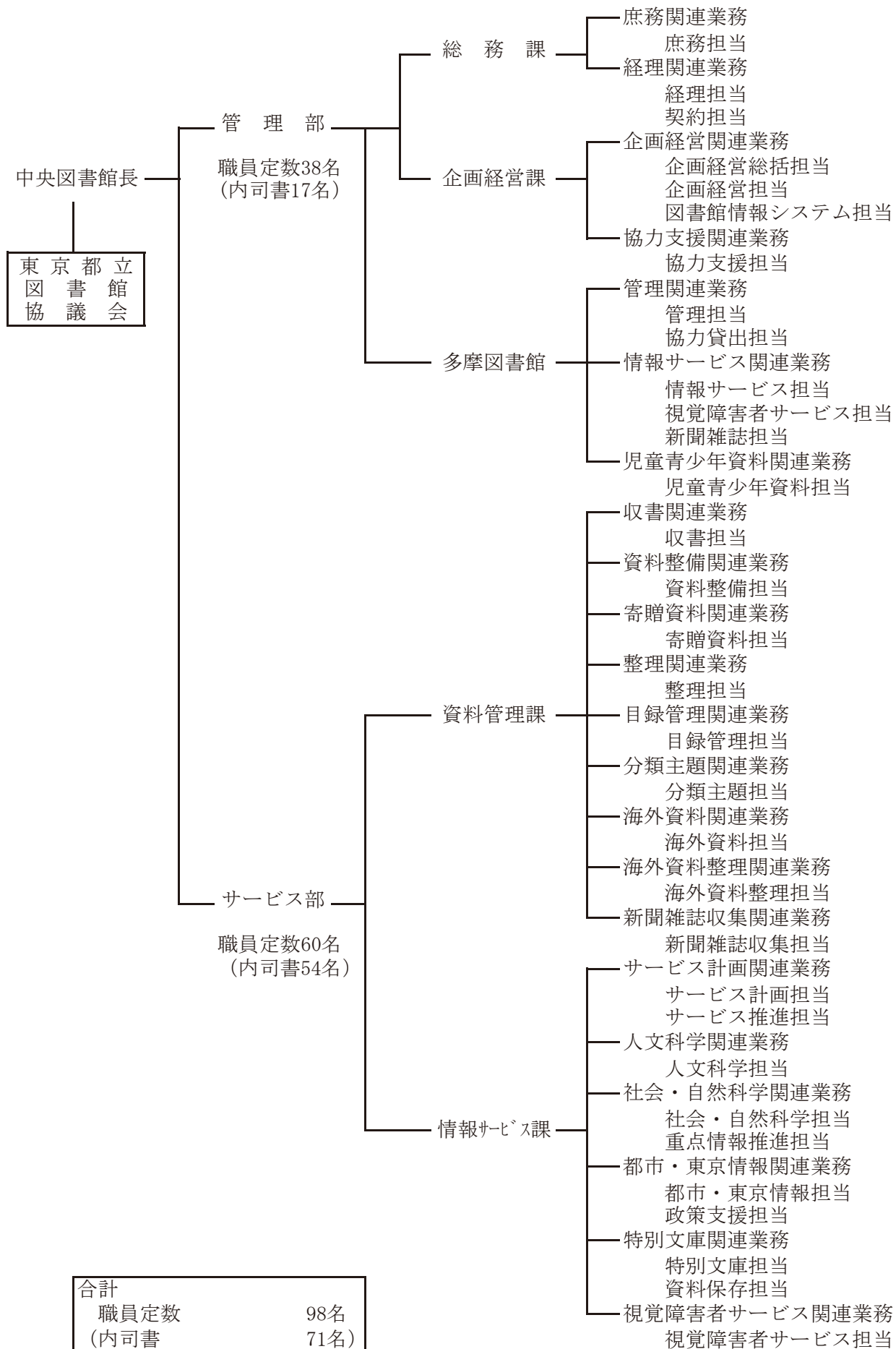
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
(東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
(東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(令和2年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
	図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること	
	多摩図書館	都立図書館の館報等の編集及び発行
図書館職員等の研修		
海外の図書館等との交流に関すること		
多摩図書館の庶務		
多摩図書館の公文書の管理		
多摩図書館の広報・統計・調査		
多摩図書館のサービス計画に関すること		
多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存		
多摩図書館の図書館資料の利用に関すること		
雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援		
多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること		
多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること		
多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること		
東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附属設備の貸出しに関すること		
都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し		
多摩図書館の利用案内に関すること		
多摩図書館の施設及び設備の維持管理		
多摩図書館の館内の取締り		
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
	情報サービス課	都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書館資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

Ⅱ 主要事業

1 令和2年度 主要事業

「都立図書館実行プラン to 2020」（平成30年1月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の最終年である令和2年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

- ア 2020年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信
- イ 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

【具体的な取組】

オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用、区市町村立図書館との連携事業実施、江戸・東京関係資料のデジタル化及び公開の促進 等

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

- ア レファレンス機能の強化
- イ 利用者のアクティブな学びの支援
- ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実
- エ 学校への支援拡充
- オ 都政への支援拡充

【具体的な取組】

レファレンスサービスの概要や事例の効果的なPR及び発信、東京マガジンバンクカレッジ関連事業の発展、英語による外国人向けガイダンスの定例開催、国際交流団体等との連携事業実施、校外学習パッケージを活用した支援の充実、政策立案支援サービスの広報強化 等

(3) 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

- ア 館内施設の有効活用
- イ 学びの空間、施設、設備の充実
- ウ 多様な情報源へのアクセス環境整備
- エ 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

【具体的な取組】

「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた拠点空間の提供、劣化度調査に基づく施設整備、電子書籍サービスの向上、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施 等

《共通の施策》 広報活動を刷新し、積極的な情報発信やPRを行う。

上記3本の柱の各事業を効果的に進めるために、横断的な取組として、積極的な広報活動を展開する。

- ア 新たな手法による情報発信強化
- イ 広報活動の枠組や体制の整備

【具体的な取組】

図書館利用動画コンテンツ多言語版の作成・発信、「顔の見える」広報の実施、利用者とのつながりによる広報の実施、外国人をターゲットにした広報の実施 等

2 令和元年度 主要事業報告

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

ア 2020 年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信

中央図書館の企画展示「世界の国のこと、もっと知ろう！～東京 2020 大会まであと 1 年～」の実施や、1 階フロアに設置した 3 展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）の定期的な更新、多摩図書館の企画展示「競技者たち-Athletes-」の実施により、所蔵資料の利用促進と情報発信を行った。また、オリンピック・パラリンピック講演会や上映会、伝統文化に関する講演会等、多彩なイベントを実施するとともに、ペルー大使館をはじめ多くの大使館及び関係機関が行う展示等イベントへの協力を通じ、連携先の拡大を図った。

資料収集の面では、オリンピック・パラリンピック関連図書や日本・東京を紹介する外国語資料等を積極的に収集した。また、大会関連資産のアーカイブについて、東京都オリンピック・パラリンピック準備局や大会組織委員会と調整を行った。

さらに、区市町村立図書館とも連携し、昨年度に引続き 7 月から 11 月まで「東京でおもてなし 2019 ～56 年ぶりの夢～」を統一タイトルとしたオリンピック・パラリンピックに関する一斉展示を行った。都立図書館ホームページの特設ページを改善し、自治体別に集約した取組情報について発信した。各自治体においても、共通ロゴを館内で掲示したり、ホームページに掲載したりするなど、連携して PR を行った。

イ 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

中央図書館では、企画展示「東京ベイエリア」及び関連イベントを実施した。また、当館の江戸・東京関係資料のデジタル化を計画的に進めるとともに、インターネットを通じて「TOKYO アーカイブ」、「江戸・東京デジタルミュージアム」として国内外に情報発信を行った。インターネットで公開した資料の累計は、特別文庫室の貴重資料は 49,000 点、東京関係資料については 5,000 点を超えた。

多摩図書館では、企画展示「競技者たち-Athletes-」の実施にあわせて所蔵する 16 ミリフィルムの DVD への媒体変換を行い、展示会場で上映した。また、過去の東京の姿を伝える貴重な映像記録の修復と長期的活用を図るため、活用方針に基づき、16 ミリフィルムの媒体変換計画の検討を行った。

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア レファレンス機能の強化

重点的情報サービス（ビジネス情報、健康・医療情報、法律情報）において、創業に関する機関や病院等、関係機関との連携を強化し、得られた情報を活かしてレファレンスサービスへの活用を図った。また、より多くの都民に都立図書館のレファレンスサービスを理解いただくため、ホームページや SNS 等での情報発信を行った。さらに、近隣の専門図書館等との連携強化を通じ、利用者に提供できる専門情報の拡大に取り組んだ。

イ 利用者のアクティブな学びの支援

中央図書館では、利用者の多様な知的欲求に応えるため、年間通じて様々なテーマで図書館見学ツアーを実施したほか、新たに「オンデマンドツアー」として、参加者の希望日時や内容に応じて行う取組を開始した。また、より幅広い調査研究活動に資するため、大学のゼミに対する広報活動を行った。

多摩図書館では、東京マガジンバンクカレッジ事業として、「雑誌総合」、「多摩」、「鉄道」のセクションごとに、年間を通じて講演会やワークショップ等を実施した。東京マガジ

ンバンクカレッジの団体パートナーについては、多摩図書館との協働事業として、出版・ジャーナリズム関係のゼミ学生による大学ゼミ雑誌研究成果発表会を実施した。発表会に向けて、学生の研究を支援するためのレファレンス受付も開始した。個人パートナーについては、企画展示での雑誌の選定とギャラリートーク、パートナー通信の原稿執筆、交流会の実施等により、主体的な活動を促進させた。また、パートナー間の交流を進めるため、関連機関の見学会を実施した。

さらに、多摩図書館の図書館見学ツアーについては、企画展示と関連したツアーや趣向をこらしたツアー等を実施し、図書館利用の促進を図った。

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、外国人を対象に、英語による図書館利用ガイダンスや3展示コーナー(オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan)の案内を実施したほか、各国大使館や国際交流団体等と連携・協力し、企画展示や留学説明会等、様々な事業を実施した。また、外国人利用者のスムーズな図書館利用に向け、外国語翻訳アプリの活用促進を図った。

多摩図書館では、府中国際交流サロンが実施する日本語学習会でチラシを配布した。また、多摩図書館で所蔵する外国語資料をPRするため、乳幼児の保護者を対象に、外国語で書かれた児童書を紹介する図書館使い方ガイダンスを実施した。さらに、外国人対応をスムーズにできるようにするため、各窓口に翻訳アプリや指さしマニュアルを設置した。

駐日エクアドル共和国大使館からは図書寄贈の申出(42冊)があり受入れた。

エ 学校への支援

都立図書館ホームページに掲載した「申込制プログラム」より、学校からの申込を受け、校外学習等を受け入れた。選書の参考となるよう、昨年度に引き続き、「書評情報通信」を発信し、多摩図書館では、特別支援学校を対象に選書等相談会を行い、学校図書館の整備や選書支援を行った。

中央図書館では、都立学校からの大規模な学校受入れが増加した。

オ 都政への支援拡充

都政における施策推進を図書館資料や情報の面から支援することを目的に、中央研修等の機会を活用し「政策立案支援サービス」の広報を行ったほか、TAIMS 端末を利用し同サービスの案内を積極的に行った。また、都が設置する専門図書館等との連携の活性化を図った。

(3) 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

ア 館内施設の有効活用

中央図書館では、展示スペース等の貸出の促進を図り、9月に「アートキャラバン展」、11月に「バヌアツ展」、12月に総務局へ貸し出した。

多摩図書館では、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた拠点空間の提供のため、閲覧エリアやグループ閲覧室において校外学習の受入れを行った。受入れに当たっては、事前に学校と打ち合わせ、学習課題の参考になる資料を用意した。また、当日は資料紹介やインターネットの検索方法を教える等の支援も行った。

イ 学びの空間、施設、設備の充実

劣化度診断調査の結果を踏まえ、中央図書館の快適な利用環境及び適切な資料保存の環境を維持するため、令和元年度から3か年計画で空調設備改修工事及び外壁改修工事を実施している。また、利用者用トイレについて、計画的に利用頻度に応じた改修工事を行っている。

ウ 多様な情報源へのアクセス環境整備

電子書籍サービスの今後の方向性について検討した。

エ 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、司書職員育成方針改定の準備作業を進めるとともに、OJT や館内研修、派遣研修等に取り組んだ。

また、都立図書館の効率的な事業運営を可能とする館内情報共有の場としての「企画会議（拡大・個別）」を12月に設置し、運用を開始した。

(4) 広報活動を刷新し、積極的な情報発信やPRを行う。

ア 新たな手法による情報発信強化

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、都立図書館の所在地にある区市で実施する祭典等に出展している。

中央図書館では、毎年5月に港区が主催している「エコライフ・フェア MINATO」に初めて出展し、認知度向上に一定の効果を得ることができた。また、毎年、出展している「みなと区民祭り」に出展する準備を行っていたが、開催日前日に、台風による影響のため開催中止となり、出展ができなかった。

多摩図書館では、11月に国分寺市が開催している「国分寺まつり」に訪れた市民等を対象に、アンケート調査を実施した。館の入口周辺でアンケート用紙を配布し、それと引き換えに館内で記念品を配布することで館内への誘導・PRを行った。

また、9月にJR西国分寺駅が実施した「西国分寺駅スタンプラリー」に初めて参加し、認知度向上に一定の効果を得ることができた。

都立図書館のPRでは、8月に「都庁第一本庁舎中央部アートワーク台座」にパネル展示を行い、都庁を訪れる人へ図書館の存在をPRした。

外国人に対する広報では、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う臨時休館等の緊急時対応について、日本語の他に英語によるホームページやSNSで情報発信した。

イ 広報活動の枠組や体制の整備

ホームページの回遊性を高めるため改修を行った。また、図書館をPRするため、取材や撮影についてのルールを定め運用している。

さらに、図書館の内外を撮影した写真をホームページで公開し、非営利目的であれば自由に使用できる環境を整備した。

Ⅲ 予算・決算

1 令和2年度 予算

(千円)

項目	予算額			内 容
	令和2年度	令和元年度	増△減	
管理運営等	544,923 (8,552)	355,455 (10,094)	189,468 (△ 1,542)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費(図書館改修工事含む)
サービス事業	167,144 (9,859)	164,693 (7,978)	2,451 (1,881)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	393,195 (5,770)	389,170 (4,059)	4,025 (1,711)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔令和2年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 27,365 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 40,561 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,044 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 290 種
電算システムの運営	152,384	145,278	7,106	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,692 (1,292)	1,692 (1,292)	0 (0)	委員数 11名 定例会 年4回
業務委託	492,058 (162,381)	463,844 (137,016)	28,214 (25,365)	都立図書館の資料出納及び複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	4,934	5,511	△ 577	・大規模企画展 年3回 ・講演会・セミナー等 年6回 ・企画展 年4回
計	1,756,330 (187,854)	1,525,643 (160,439)	230,687 (27,415)	

(注) ・予算額中の()は、給与関係費(報酬等、共済費、旅費)で内数

2 令和元年度 決算

(円)

項 目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		355,455,000 (10,094,000)	323,559,500 (6,348,036)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡ 地上3階 延 8,982㎡		
II サービス事業		164,693,000 (7,978,000)	155,367,654 (6,982,499)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 295日 入館者数 317,700人 開館日数 295日 入館者数 196,573人		
III 資料収集・整理		389,170,000 (4,059,000)	381,004,046 (4,283,708)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図 書 (1) 新刊和書 21,606冊 (2) 既刊書 1,256冊 (3) 洋書 5,162冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,289冊 (5) 電子資料 0枚 (6) 児童書(和書) 3,080冊 (7) 青少年図書(和書) 1,830冊 2 逐次刊行物 (1) 新 聞 172種 (2) 雑 誌 3,957種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,319冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 170冊		
IV 電算システムの運営		145,278,000	144,901,839
V 図書館協議会		1,692,000 (1,292,000)	808,773 (584,084)
VI 業務委託		463,844,000 (137,016,000)	456,013,566 (129,524,086)
VII タイムリーな企画展		5,511,000	4,022,070
計		1,525,643,000 (160,439,000)	1,465,677,448 (147,722,413)

(注) ・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬、共済費、賃金、旅費)で内数

IV 統計資料 (令和2年3月31日現在)

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,369,401	241,782	1,611,183
	総 記	57,881	7,066	64,947
	哲 学	74,947	7,167	82,114
	歴 史	188,115	12,890	201,005
	社 会 学 科 学	376,505	30,695	407,200
	自 然 科 学	132,801	11,215	144,016
	技 術	148,914	14,141	163,055
	産 業	102,783	6,068	108,851
	芸 術	132,058	14,327	146,385
	言 語	27,943	4,052	31,995
	文 学	127,454	134,161	261,615
	東京資料	250,384	4,769	255,153
	児童資料	0	180,079	180,079
	青少年図書	0	38,502	38,502
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	173,233	34,479	207,712
	一 般 書	171,417	13,660	185,077
	東京資料	1,816	15	1,831
	児童資料	0	20,803	20,803
	青少年図書	0	1	1
	中国語図書	71,983	4,917	76,900
	一 般 書	71,622	137	71,759
	東京資料	361	1	362
	児童資料	0	4,779	4,779
	青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	23,767	2,335	26,102
	一 般 書	23,454	36	23,490
	東京資料	313	2	315
児童資料	0	2,297	2,297	
青少年図書	0	0	0	
特 別 文 庫	243,514	0	243,514	
山本有三文庫	0	13,560	13,560	
計	2,132,282	520,423	2,652,705	

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区分	中央図書館				多摩図書館				合計			
	新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小計				
新聞	日本語	継続	183	222	0	405	46	10	32	88	493	
		終刊・中断	250	390	45	685	86	20	0	106	791	
		小計	433	612	45	1,090	132	30	32	194	1,284	
	外国語	継続	27	6	0	33	3	0	0	0	3	36
		終刊・中断	46	16	0	62	2	1	0	0	3	65
		小計	73	22	0	95	5	1	0	0	6	101
計	506	634	45	1,185	137	31	32	200	1,385			
雑誌	日本語	継続	1,276	518	0	1,794	5,387	176	0	5,563	7,357	
		終刊・中断	2,250	1,588	255	4,093	11,678	715	0	12,393	16,486	
		小計	3,526	2,106	255	5,887	17,065	891	0	17,956	23,843	
	外国語	継続	62	9	0	71	414	20	0	434	505	
		終刊・中断	64	10	329	403	1,182	64	0	1,246	1,649	
		小計	126	19	329	474	1,596	84	0	1,680	2,154	
計	3,652	2,125	584	6,361	18,661	975	0	19,636	25,997			
マイクロフィルム (注2)	16 (16,301)	12 (1,609)	—	28 (17,910)	16 (10,687)	3 (13)	4 (152)	23 (10,852)	—			

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,514冊」の内数。

(注2)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオ テープ (巻)	LD・ DVD (枚)	スライド フィルム (組)	レコード・CD ()はCDで内数 (枚)	録音 テープ (巻)	航空写真 ネガフィルム (本)
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,332	264	5,772 (1,724)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料				点字資料		点字雑誌・新聞		録音雑誌・新聞			
	録音テープ		デイジー						録音テープ		デイジー	
中央図書館	3,619点	26,762巻	2,479点	2,503枚	705点	3,427冊	10種	3,930冊	7種	614点	13種	583枚
多摩図書館	3,175点	17,106巻	1,442点	1,442枚	411点	1,701冊	11種	604冊	19種	4,418点	7種	377枚

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書館の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	66,705点	9,375巻	6,444枚	37,922枚	4,738枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)

区分	オンラインデータベース 導入数
無料	33
有料	1
計	34

(タイトル)

区分	電子書籍 タイトル数
日本語コンテンツ	1,402
英語コンテンツ	1,030
計	2,432

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	36,712 (7,621)
受 贈	8,371 (551)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	50 (10)
計	45,133 (8,182)

(注) 年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	2,252
-------------------	-------

(2) 逐次刊行物受入状況

(年鑑年報は冊数 新聞雑誌はタイトル数)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,489 (170)	136 (22)	36 (1)	865 (65)	3,092 (361)
受 贈	2,929 (39)	252 (11)	49 (1)	1,150 (13)	3,106 (81)
計	4,418 (209)	388 (33)	85 (2)	2,015 (78)	6,198 (442)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	33,062	7,302	5,167	45,531

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
3,658	1,405	0	5,063

4 利用統計資料（令和元年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	
平成31年 4月	28	27,658	988	28	16,203	579	43,861
令和元年 5月	29	34,971	1,206	29	19,608	676	54,579
6月	19	20,374	1,072	19	12,199	642	32,573
7月	29	30,933	1,067	29	19,653	678	50,586
8月	29	32,047	1,105	29	21,531	742	53,578
9月	28	28,667	1,024	28	19,205	686	47,872
10月	27	28,928	1,071	27	17,181	636	46,109
11月	28	29,971	1,070	28	19,306	690	49,277
12月	26	26,818	1,031	26	15,232	586	42,050
令和2年 1月	26	28,252	1,087	26	17,338	667	45,590
2月	26	29,081	1,119	26	19,081	734	48,162
3月	0	0	0	0	0	0	0
計	295	317,700	1,077	295	196,537	666	514,237

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための臨時休館中(2月29日～3月31日)の入館者(中央412人、多摩92人)は含めず。

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	
平成31年 4月	28	97,200	3,471	28	14,315	511	111,515
令和元年 5月	29	120,610	4,159	29	15,174	523	135,784
6月	19	82,406	4,337	19	12,151	640	94,557
7月	29	112,366	3,875	29	16,438	567	128,804
8月	29	121,175	4,178	29	15,082	520	136,257
9月	28	97,329	3,476	28	16,161	577	113,490
10月	27	98,812	3,660	27	13,488	500	112,300
11月	28	93,234	3,330	28	15,993	571	109,227
12月	26	100,679	3,872	26	16,423	632	117,102
令和2年 1月	26	97,238	3,740	26	12,458	479	109,696
2月	26	80,272	3,087	26	13,455	518	93,727
3月	0	399	-	0	66	-	465
計	295	1,101,720	3,735	295	161,204	546	1,262,924

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための臨時休館中(2月29日～3月31日)の来館による複写枚数(中央9,894枚、多摩2,342枚)は含めず。

1日平均の年間計には臨時休館中の郵送複写分を含める。

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
平成31年 4月	627,013	156,251
令和元年 5月	689,980	204,976
6月	607,925	203,195
7月	745,097	214,997
8月	664,796	213,352
9月	614,758	196,775

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
令和元年 10月	624,895	202,112
11月	589,609	213,506
12月	588,882	198,432
令和2年 1月	693,359	202,081
2月	957,743	203,069
3月	918,573	204,658
計	8,322,630	2,413,404

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

		(人)			(人)
区 分		各月末現在の登録利用者数	区 分		各月末現在の登録利用者数
平成31年	4月	4,861	令和元年	10月	6,180
令和元年	5月	5,096		11月	6,386
	6月	5,304		12月	6,592
	7月	5,575	令和2年	1月	6,840
	8月	5,798		2月	7,023
	9月	5,980		3月	7,145

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・インフルエンザの流行による学級閉鎖（休業）が導入された経緯とその効果を知りたい。
- ・手塚治虫本人が行った講演が載っている資料はないか。
- ・渋谷駅のハチ公広場のレイアウトとハチ公の位置について、戦後から現在まで、どのように変化したのかを知りたい。
- ・関東大震災後及び太平洋戦争後に東京の飲食店数が急増したようだが、それを裏付ける資料はあるか。

ア 質問形態内訳

[都立図書館計]

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1日平均	総 数	1日平均	
口 頭	24,120	82	13,284	45	37,404
電 話	20,914	71	6,090	21	27,004
ファクシミリ	12	0	20	0	32
文 書	920	3	458	2	1,378
Eメール	2,458	8	443	2	2,901
計	48,424	164	20,295	69	68,719

[中央図書館]

(件)

区 分	情報サービス課 4担当	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	22,630	616	874	24,120	295	82
電 話	16,551	540	3,823	20,914	295	71
ファクシミリ	7	4	1	12	295	0
文 書	739	102	79	920	295	3
Eメール	2,214	228	16	2,458	295	8
計	42,141	1,490	4,793	48,424	295	164

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が12,129件ある。

[多摩図書館]

(件)

区 分	情報サービス担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	7,378	5,494	412	13,284	295	45
電 話	5,274	537	279	6,090	295	21
ファクシミリ	20	0	—	20	295	0
文 書	397	61	—	458	295	2
Eメール	76	286	81	443	295	2
計	13,145	6,378	772	20,295	295	69

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	2	84	86
	多摩地区市町村立図書館	23	83	106
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	25	167	192
その他		5	32	37
計		30	199	229

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	215,154
1日平均	729

図書・新聞・雑誌の合計

(冊)

多 摩 図 書 館					
図 書		雑 誌		計	
		うち、児童図書	うち、児童雑誌		
年間	36,957	(24,320)	129,169	(13,989)	166,126
1日平均	125	(82)	438	(47)	563

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館			
情報サービス課4担当	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計
6,580	611	65	7,256

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が 10,092件ある。

多摩図書館
1,511

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,072	178	2,250
都庁内貸出冊数	823	58	881
複写枚数	6,626	712	7,338

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

イ 復刻・翻刻

開室 日数 (日)	閲覧者数 (人)		閲覧数 (冊)		複 写 関 係						資料貸出		合計資料冊数		件数	冊数
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮 影		即日複写		ネガ貸		件数	冊数	冊数	1日平均		
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数						
295	862	3	7,981	27	115	550	154	485	1,269	2,850	8	31	11,897	40	7	13

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数 (人)	利用点数 (点)
667	1,205

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			テープ・デージー資料				点 訳				
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間	受付数	テープ資料		デージー資料		受付数	作成数 (冊)	貸出数	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	FD (枚)
中央図書館	288	83	299	455	1,167	30	0	284 (424)	30 (30)	4,934 (4,934)	5	5 (17)	124 (172)	54 (54)
多摩図書館	99	18	179	266	726	7	0	17 (59)	20 (20)	1,868 (1,868)	1	1 (7)	3 (6)	0 (0)

(注1) デージーとは、Digital Accessible Information System（デジタル録音図書）の略。

(注2) 貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞（テープ、デージー及び点訳）は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻（冊）数を表す。

(注5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年2月29日以降、対面音訳サービスを休止。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

(冊)

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区 立 図 書 館	8,215	2,083	10,298
多摩地区区市町村立図書館	52,699	3,429	56,128
島しょ図書館	623	0	623
計	61,537	5,512	67,049

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区 分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	40	42	25	25
多摩図書館	11	12	4	4
計	51	54	29	29

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分		登 録 数	貸 出			
			件 数	点 数		
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体	49	190	541	本	
	特 別 団 体	11				
	うち、 長期貸出し 島しょ	大島	—	12	120	本
		三宅		0	0	本
		八丈		0	0	本
		小笠原		2	8	本
計	—	14	128	本		
映 写 機 貸 出		—	30	30	台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ アクセス数
平成31年 4月	68,293
令和元年 5月	72,811
6月	69,596
7月	70,389
8月	72,051
9月	64,666
10月	70,205
11月	62,917
12月	60,567
令和2年 1月	65,026
2月	69,863
3月	73,738
計	820,122

(13) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員216名。約100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
平成31年 4月	11	3	5
令和元年 5月	8	10	5
6月	14	11	7
7月	24	3	7
8月	18	4	3
9月	18	4	2
10月	11	8	4
11月	14	5	7
12月	6	10	10
令和2年 1月	14	5	5
2月	12	1	6
3月	3	2	0
計	153	66	61

V 事業実績（令和元年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等・映画会）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をもっとPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
イ 図 書 館 外	エコライフフェアMINATO2019	5月18日	港区立有栖川宮記念公園	177名
	都庁第一本庁舎アートワーク台座パネル展示	8月16日～8月22日	都庁第一本庁舎1階	-名
中央 企 画 展 示 館	世界の国のこと、もっと知ろう！～東京2020大会まであと1年～	7月24日～10月2日	中央図書館 企画展示室	11,060名
	東京文化財ウィーク2019参加企画展「木子文庫に見る御大礼」	10月26日～11月10日		3,572名
	「東京ベイエリア」	1月18日～2月28日		6,441名
1 階 ホ ール 展 示	オリンピック・パラリンピックコーナーテーマ展示 「日本初のオリンピック出場選手 金栗四三」	5月10日～7月23日	中央図書館 1階ホール展示コーナー*	
	オリンピック・パラリンピックコーナーテーマ展示 「2つの東京オリンピック」	7月24日～11月6日		
	オリンピック・パラリンピックコーナーテーマ展示 「田畑政治～水泳教育とオリンピック～」	11月8日～2月5日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示 「おべんとう～箱に楽しみを詰め込んで～」	5月10日～7月31日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸時代に学ぶ生活の知恵」	5月10日～7月31日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示 「庭とたてももの～眺めて感じる日本～」	8月2日～11月6日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸・東京～まちの縁起もの」	8月2日～11月6日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「日本を彩る 色と紋様」	11月8日～2月5日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「東京年末年始」	11月8日～2月5日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「日本の文化・産業・自然遺産」	2月7日～2月28日		
	伝統・文化コーナーテーマ展示「江戸の湊・東京の港」	2月7日～2月28日		
	Books on Japanコーナートピック展示 「Japonism－Japan in Western Art－」	5月10日～7月31日		
	Books on Japanコーナートピック展示 「Summer traditions－fireworks－」	8月2日～10月2日		
	Books on Japanコーナートピック展示「侍 Samurai」	10月4日～1月8日		
Books on Japanコーナートピック展示 「Enjoying Japanese Sake 日本酒を楽しむ」	1月10日～2月28日			
他 機 関 主 催 展 示 連 携	「バラ講座」関連展示	8月20日～9月6日	中央図書館 企画展示室ほか*	
	巡回展示「DEUTSCHER FOTOBUCHPREIS 18 19」関連展示	10月5日～10月17日		
	「バヌアツ展 バヌアツの子らはなぜ世界一しあわせなんだろう」 関連展示	11月14日～12月4日		
	「総務局「拉致被害者救出運動」写真パネル展」関連展示	12月15日～12月26日		
	「アニタ・イエンセン写真展」関連展示	1月20日～1月26日		
社 会 ・ 自 然 展	トピック展示「平成スイーツコレクション」	5月10日～6月10日	中央図書館 社会・自然科学系 資料・閲覧室*	
	ミニ展示「日本の学校・世界の学校」	7月24日～10月2日		
都 市 ・ 東 京 情 報 こ ー な ー	「東京で楽しむアート」	4月5日～5月8日	中央図書館 都市・東京情報コーナー *	
	「有栖川宮記念公園と麻布地域を楽しむ」	5月10日～7月3日		
	「東京を駆ける！」	7月5日～7月31日		
	「江戸の川・東京の川－東京の水辺を楽しむ－」	8月2日～9月4日		
	「高齢者を守る！東京都の取組み」	9月6日～10月2日		
	「未来を支える読書－東京都の子供読書活動推進事業－」	10月4日～11月6日		
	「空にも届きそう！東京の超高層ビル」	11月8日～12月4日		
	「外国語で伝えるTOKYO－観光から防災まで－」	12月6日～1月8日		
「東京に来る！－これまでの夏季オリンピック・パラリンピックを知って今年を楽しもう－」	1月10日～2月28日			

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
ビ ジ ネ ス 展 示 情 報	「商売(ビジネス)のはじめかた」	5月10日～7月3日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	/
	「ダイバーシティ(多様性)を実現する経営戦略」	7月5日～9月4日		
	「広報は会社を救う」	9月6日～11月6日		
	「インターネット広告」	11月8日～1月8日		
	「ハラルマーケット」	1月10日～2月28日		
ミ ニ 展 示 情 報	「“士”のつく職業 法律編 ～ 困った時に頼れる法律の専門家たち～」	5月10日～7月3日	中央図書館 法律情報コーナー*	/
	「社会を明るくしよう！～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える～」	7月5日～9月4日		
	「安全に自転車に乗るために」	9月6日～11月6日		
	「動物・ペットの法律」	11月8日～1月8日		
	「賢い消費者の心得」	1月10日～2月28日		
健 康 ・ ミ ニ 展 示 情 報	「吸う人も 吸わない人も Tobacco and lung health」	5月10日～7月3日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	/
	「夏を乗り切る！」	7月5日～9月4日		
	「健康寿命を延ばそう！」	9月6日～11月6日		
	「How can I help you? ～外国人の方に届ける医療～」	11月8日～1月8日		
	「命をつなぐ救急医療」	1月10日～2月28日		
ト ピ ッ ク 展 示	「万葉集と令和」	4月12日～5月8日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	/
	「新紙幣 肖像画の三人」	4月23日～6月10日		
	「決定！第161回 芥川賞・直木賞」	7月18日～9月4日		
	「本で発見！落語の魅力」	7月22日～7月31日		
	「エクアドル大使館 寄贈図書」	7月24日～9月4日		
	「アートキャラバン展2019」	9月3日～9月26日		
	「もっと知ろう！ラグビー」	9月6日～11月6日		
	「ノーベル文学賞受賞 2018/2019」	10月11日～11月6日		
	「イラストレーター和田誠」	10月16日～11月6日		
	「決定！第162回 芥川賞・直木賞」	1月16日～2月28日		
「投扇興」	1月19日～2月5日			
ミ ニ 展 示	「即位と改元～新元号「令和」を祝して～」	5月10日～7月3日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	/
	「2020東京オリンピック・新競技」	7月5日～10月2日		
	「今こそ知りたい、レオナルド・ダ・ヴィンチ」	9月6日～11月6日		
	「本で楽しむディズニーの魅力」	11月8日～1月8日		
	「美術館のことを知ろう～2020開館ラッシュ！～」	1月10日～2月28日		
美 術 情 報 コ ー ナ ー 展 示	「福沢一郎とシュルレアリスム」	4月5日～5月8日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	/
	「クリムトの黄金世界」	5月10日～6月5日		
	「宮本隆司と建築」	6月7日～7月3日		
	「高畑勲が描いた世界」	7月5日～7月31日		
	「いまを生きるミュシャ」	8月2日～9月4日		
	「ちひろさんの子どもたち」	9月6日～10月2日		
	「コートールド美術館展 印象派の画家たち」	10月4日～11月6日		
	「ハプスブルク家の600年」	11月8日～12月4日		
	「炎の画家 ゴッホ」	12月6日～1月8日		
	「上村松園～女性の眼で描いた美人～」	1月10日～2月5日		
「狩野派 日本絵画史上最大の画派」	2月7日～2月28日			

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
東京マガジン 企画展示	「ヘイセイ→→→ミライ ～平成から未来へ～」	3月22日～6月10日	多摩図書館展示エリア	16,296 名
	「競技者たち～Athletes～」	6月21日～9月4日		17,067 名
展示 3周年 企画	「すべての旅は本から始まったー。写真家 石川直樹の世界」	1月25日～2月28日	多摩図書館展示エリア	6,187 名
資料担当 企画展示 青少年 児童	「サイエンス・ブック・ラボ」	9月11日～12月4日	多摩図書館企画展示エリア	18,650 名
	「こどもの科学の本の歩み」	9月6日～12月4日	多摩図書館展示ウォール*	
ミニ 東京 マガ ジ ン オ ー バ ル ン ク 展 示	ウォール展示「プレイバックヘイセイ 平成のアイドルたち」	3月22日～6月10日	多摩図書館雑誌エリア*	
	ミニ展示「2018年に生まれた雑誌」	3月22日～6月10日		
	ウォール展示 「山本有三、子供の本とのかかわり ～山本有三文庫より～」	6月21日～9月4日		
	ミニ展示「決定！第161回芥川賞・直木賞」	7月18日～7月31日		
	ミニ展示「令和のアーティスト」	12月6日～1月28日		
	ウォール展示「2019平成から令和へ 生まれた雑誌・消えた雑誌」	12月6日～1月20日		
	展示エリア連携 「第2回東京水道フォトコンテスト受賞作品展関連資料展示」	12月6日～1月28日		
	ミニ展示「東京学校支援機構・理事長 坂東眞理子氏」	12月18日～		
	展示エリア連携 「令和元年度東京都特別支援学校 アートキャラバン展」	12月21日～1月16日		
	ウォール展示「石川直樹による『群像』全表紙 （「すべての旅は本から始まったー。写真家 石川直樹の世界）」	1月25日～2月28日		
	ミニ展示「石川直樹が読んだ子供の本」 （「すべての旅は本から始まったー。写真家 石川直樹の世界）」	1月25日～2月28日		
	ミニ展示「かこさとしの著作」 （「すべての旅は本から始まったー。写真家 石川直樹の世界）」	1月25日～2月28日		
児童 ミニ サ ー ビ ス 展 示	「げんきな1ねんせいの本」	9月12日～12月4日	多摩図書館児童エリア*	
	「おとうさん、おかあさんの本」	4月27日～6月10日		
	「これならできる！自由研究」	6月21日～9月4日		
	「宇宙の本」	9月12日～12月4日		
	「大みそかとお正月の本」	12月5日～1月9日		
	「山と冒険の本」	1月25日～3月31日		
青 少 年 サ ー ビ ス 展 示	「中高生のおすすめ本」	通年	多摩図書館青少年エリア*	
	「本屋大賞2019」	4月7日～6月17日		
	「高校生直木賞」	5月10日～10月2日		
	「SFの金字塔」	10月4日～1月19日		
	「甘いvs塩っぱい」	1月20日～3月16日		
ス ポ ツ ト	「羅針盤」	通年	多摩図書館青少年エリア*	
	「羅針盤Ⅱ」	通年		
	「扉をあけてⅡ」	通年		
	「TAMA selection」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「英語多読棚」	通年		
児童 研 究 書 展 示	『読み聞かせABC』改訂版 掲載図書展示	4月4日～6月20日	多摩図書館開架書庫*	
	『これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集』掲載図書展示	6月21日～9月5日		
	『かがくのとも』50周年記念 バックナンバー600号一斉展示	9月5日～12月5日		
	「あの人を知るための扉 かこさとし」関連展示	12月5日～1月25日	児童研究書エリア*	
	かこさとしの著作 「すべての旅は本から始まったー。写真家 石川直樹の世界」関連展示	1月25日～3月31日		
	絵本作家・かこさとしさんを知る本	9月5日～12月5日		
	和田誠氏追悼展示	10月17日～12月5日		
	クリスマスの本	12月5日～12月28日		
	日本の遊びの本	1月4日～2月6日		
	「あの人を知るための扉 かこさとし」関連展示	12月5日～2月6日		

注1.図書館外イベントの来場者数はアンケート回収数である。

注2.*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区 分		日程	会場	参加者数	
ビジネス情報サービス	講演会	「個人がメディアになる時代・「個人経済圏」時代」	12月12日	中央図書館	89名
健康・医療情報サービス	講演会	「健康寿命を延ばすためにー今から始める介護予防ー」	10月5日	中央図書館	98名
ペルー展 関連イベント		ペルー講座第1回「マチュピチュ」だけじゃない！ペルー観光名所の魅力」	4月13日	中央図書館 企画展示室	60名
		ペルー講座第2回「世界一の美食大国ペルーー魅惑の食文化ー」	5月25日	中央図書館多目的ホール	68名
		ペルー映画上映会「Una sombra al trente」	5月11日	中央図書館多目的ホール	64名
特別講演会		「金栗四三とその師嘉納治五郎」	8月25日	中央図書館	90名
東京2020大会に向けたイベント		オリンピック・パラリンピック関連上映会	8月2日、10日、23日、25日	中央図書館多目的ホール	56名
伝統文化講演会		「立川流真打が語る落語の魅力ー実演とともにー」	7月27日	中央図書館	101名
大学・大学院留学説明会		「アメリカ留学、はじめの一步！」	2月9日	中央図書館	85名
東京マガジバンクカレッジ		トークイベント「雑誌が作り出すトレンドの変遷とミライー『DIME』『サライ』『BE-PAL』の編集長に聞く！ー」	6月8日	多摩図書館 セミナールーム	86名
		講演会「鉄道写真の魅力と撮影テクニック」	7月6日		111名
		ワークショップ「鉄道写真の魅力と撮影テクニック」	8月10日		30名
		講演会「武蔵国の中枢としての『多摩の魅力』ー教科書と史跡・文化財から古代の多摩を読み解くー」	10月6日		111名
		地域散歩「武蔵国の国分寺と国府を訪ねて」	10月6日	多摩地域(国分寺、府中)	38名
		大学ゼミ発表会「大学ゼミ 雑誌研究成果発表会ー雑誌と社会のかかわりを語り合おうー」	1月26日	多摩図書館	64名
企画展示関連講演会		「大宇宙、ブラックホールへの挑戦」	10月27日	多摩図書館 セミナールーム	163名
		「地球を旅する」	2月11日		213名
子供読書活動 推進事業		「これならできる！自由研究講座ー形も色も自由自在 こまを作って回してみよう！ー」	7月28日	多摩図書館	35名
		登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	通年		延501名
		登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	通年		延542名
		「赤ちゃん和幼い子供のためのおはなし会」	7月20日、8月11日		延105名
	小学生対象おはなし会	4月27日、28日、5月4日、5日、12月26日、2月8日		延54名	
図書館 見学ツアー		全19回 (バックヤード3回、古き東京を知る1回、ナイト3回、本の修復見学2回、外国人2回、美術2回、手話で巡る1回、手作り和本体験1回、オンデマンド4回)	4月25日～2月20日	中央図書館	158名
		全21回 (通常ツアー6回、マガジバンクカレッジ関連ツアー3回、企画展示関連ツアー5回、講演会関連ツアー2回、セミナールーム関連ツアー3回、3周年記念ツアー2回)	6～11月、1～2月	多摩図書館	372名
ショートセミナー (オンラインデータベースやCD-ROMの情報検索方法の説明、関連資料やコーナーの紹介等)		全21回 (美術情報1回、都市・東京情報3回、ビジネス情報13回、法律情報1回、健康・医療情報1回、新聞1回、人物情報1回) ※電子書籍は別途計上	4月17日～2月19日	中央図書館	164名
ショートセミナー (電子書籍の使い方)		1回開催	1月16日	中央図書館	4名

区 分		日程	会場	参加者数
検索講習会 (オンラインデータベースや図書館の使い方の説明)	検索講習会付き図書館ツアー	7月24日	多摩図書館	3名
	アスリートに関する記事の検索	8月21日		7名
	赤ちゃんがいる方のための図書館使い方講座	11月4日		12名
	写真や山岳について調べる	1月28日		1名
謎解きイベント	[再演] Live-Rally -運命をつなぐ物語2-(自由参加)	8月2日～8月12日 (11日間)	中央図書館	613名
	Live-Rally -運命をつなぐ物語3-(自由参加)	1月18日～2月28日 (40日間)		741名

(3) 映画会 (多摩図書館)

区 分	内 容	日程	開催回数	参加者数
定例映画会	「青春デンデケデケデケ」	4月7日	1回	55名
	「ドキュメンタリー ～東京の島～」 ①神々が集う島 神津島 ②ハートアイランド式根島 ③式根島 ④トロピカル東京 -小笠原- ⑤小笠原、この自然を誰に ⑥大きく育て! アオウミガメ 小笠原の自然に生きる	4月18日	1回	58名
	「アニメ ～矢玉四郎特集～」 ①はれときどきぶた ②おぼけうんどうかい	5月5日	1回	61名
	「ドキュメンタリー ～東京のまち～」 ①銀座八丁 ②新宿(新東京地区4) ③浅草(東京の顔特集3)	5月16日	1回	42名
	「アニメ ～スポーツアニメ特集～」 ①ゆかいなリトルボーイ ぼくらはスポーツマン ②キャプテン翼 ヨーロッパの空	6月2日	1回	38名
	「遙かなる甲子園」	6月21日	1回	46名
	「アニメ ～幻想アニメ～」 ①幽霊船 ②九尾の狐と飛丸	7月7日	1回	67名
	「ドキュメンタリー ～オリンピック・パラリンピック～」 ①プロジェクトX/挑戦者たち 料理人たちの炎のオリンピック ②プロジェクトX/挑戦者たち 首都高速東京五輪への空中作戦	7月18日	1回	37名
	「アニメ ～世界のアニメ 東ヨーロッパ～」 ①プチコの大冒険 ②プチコ グレートレース ③プチコ オープンユアハート ④トムとジョン -ボールとタマゴ- ⑤えもののないハンター ⑥ペンギンと白熊 ⑦犬の写真屋さん 逆立ち写真	8月4日	1回	52名
	特別上映会	「日は好日」	8月25日	1回
定例映画会	「ドキュメンタリー ～人間と宇宙～」 ①パワーズ・オブ・テン -銀河から原子まで- ②宇宙へのフロンティア	9月1日	1回	64名
	「ドキュメンタリー ～多摩の自然～」 ①動物と語ろう 多摩動物公園 ②春を創る 昆虫生態園・熱帯植物園 ③東京に残る湯の里 青梅・岩倉温泉 ④森ある星のおとぎ話し 東京の水源林 ⑤緑のダム 水源林を訪ねて ⑥よみがえる多摩の大昔 -旧石器時代～縄文時代-	9月19日	1回	42名
	「アニメ ～SFアニメ特集～」 ①パワーズ・オブ・テン -銀河から原子まで- ②とびまわる皿 ③飛び出せ宇宙へ ④雨はやさしく ⑤第三惑星の秘密	10月6日	1回	52名
	「ドキュメンタリー ～物理学の世界～」 ①パワーズ・オブ・テン -銀河から原子まで- ②ガリレオの落体実験・マイケル・ファラデーの電磁誘導実験 ③物質量を調べる・化学変化の量的関係 ④映像評伝 朝永振一郎	10月17日	1回	50名

区 分	内 容	日 程	開催回数	参加者数
定例映画会	「アニメ ～クマのプーさん～」 ①クマのプーさん プーさんと大あらし ②クマのプーさん きせつってなあに ③クマのプーさん プーさんとはちみつ	11月4日	1 回	59 名
	「ドキュメンタリー ～世界の建築～」 ①イスラムの遺産 ②アントニー・ガウディー	11月21日	1 回	68 名
	「アニメ ～クリスマスアニメ～」 ①チェスターのメリークリスマス ②ファーザー・クリスマス ③スノーマン	12月1日	1 回	72 名
	アニメ「バック君町に行く」	12月19日	1 回	36 名
	「わが愛の譜 滝廉太郎物語」	1月5日	1 回	88 名
	「アニメ ～山のアニメ特集～」 ①山の音 琴の詩 ②ちびっこカムのぼうげん	1月25日	1 回	78 名
特別上映会	「南極料理人」	2月2日	1 回	144 名
定例映画会	「裸の島」	2月20日	1 回	59 名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名		会場	回数	修了者数	
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「ビジネス情報」	中央図書館	1回	40名	
		テーマ別研修「東京情報」		1回	52名	
		テーマ別研修「講師養成講座」		1回	31名	
		テーマ別研修「健康・医療情報」		1回	40名	
		テーマ別研修「新聞・雑誌情報」	多摩図書館	1回	49名	
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）	多摩図書館	1回	121名	
児童図書館専門研修Ⅱ		1回		62名		
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修（全6日間）	多摩図書館	1回	23名	
		中級研修（全6日間）	中央図書館	1回	24名	
		専門研修		1回	103名	
	障害者サービス研修		1回	77名		
講師派遣	音訳初級者フォローアップ講習会（11月12日）		東久留米市立中央図書館（1名派遣）	1回	18名	
	音訳について「聴き手として感じること」（1月14日）		足立区生涯学習センター（1名派遣）	1回	20名	
	令和元年度中央区読み聞かせボランティア研修会（11月22日）		中央区立図書館（2名派遣）	1回	100名	
	音訳者養成講習（2月6日）		目黒区八雲中央図書館（1名派遣）	1回	30名	
	レファレンス研修（ビジネス情報）（2月20日）		台東区立中央図書館（2名派遣）	1回	21名	
	テーマ別レファレンス研修（新聞雑誌情報）（2月27日）		世田谷区立中央図書館（2名派遣）	1回	15名	
製本研修	製本研修		中央図書館	2回	44名	
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会		中央図書館	2回	109名	
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会		中央図書館	2回	130名	
	障害者サービス事務担当者連絡会		中央図書館	1回	71名	
	東京都図書館研究交流会	講演会	第1回（7月5日）	中央図書館	1回	71名
			第2回（2月5日）		1回	53名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（7月31日）	中央図書館	1回	36名
			第2回（2月26日）		1回	21名
	協力事務担当者会	第1回（5月29日）		中央図書館	1回	83名
第2回（12月4日）		多摩図書館	1回	67名		

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研修名	主催者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	がん患者学セミナー「がん療養の役立つ知識～情報の調べ方と図書館活用～」（4月24日）	日本赤十字社医療センター	2名	1回	8名
	読書バリアフリー研究会（5月18日）	公益財団法人伊藤忠記念財団	1名	1回	144名
	TMDUがんレクチャー「がん情報の探し方」（7月9日）	東京医科歯科大学 医学部附属病院 がん相談支援センター	2名	1回	44名
	児童図書館員養成専門講座（9月27日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	17名
	令和元年度子どもの読書指導者養成講座（12月11日）	山梨県立図書館	1名	1回	24名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年2月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 168件（中央図書館 8件、多摩図書館 160件）
（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

(イ) 子供の読書に関する相談 212件
（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
文京区立音羽中学校(1年 6名)、宮城県大崎市立岩出山中学校(2年 4名)、千葉県立小金高等学校(1年 2名)、愛知県蒲郡市立塩津中学校(3年 5名)、島根県立松江東高等学校(2年 4名)	中央図書館	5校	21名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
港区立高陵中学校(2年 3名)、目黒区立第八中学校(2年 1名)、神津島村立神津中学校(2年 1名)、都立桜修館中等教育学校(2年 4名)、都立富士高等学校附属中学校(2年 4名)、都立白鷗高等学校附属中学校(2年 3名)、鷗友学園女子中学校(3年 4名)、聖心女子学院高等科(1年 1名)	中央図書館	8校	21名
都立富士高等学校附属中学校(2年 3名)、都立武蔵台学園(小学部6年 18名)	多摩図書館	2校	21名

エ 校外学習の受入れ

学校からの申込みを受け、実施した。中央図書館では、主に図書館を利用した文献調査方法の説明及び館内見学を行った。多摩図書館では、小学校向けには主に見学や調べ学習など、中学校・高校向けには主に見学やインタビューなど、特別支援学校(学級)向けにはおはなし会や見学などを行った。

	受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
(小学校)	港区立筭小学校(3年 30名)	中央図書館	1校	30名
(中学校)	広尾学園中学校(2年 159名)		1校	159名
(高校)	都立両国高等学校(1年 200名*)、都立三田高等学校(1年 275名)、都立穂ヶ丘高等学校(1年から3年 10名)、都立小山台高等学校(1年 318名*)、佼成学園女子高等学校(1年 14名)		5校	817名
(小学校)	国分寺市立第一小学校(3年 67名)、国分寺市立第五小学校(2年 80名)、早稲田実業学校初等部(3年 108名)	多摩図書館	3校	255名
(特別支援学校及び特別支援学級)	都立小金井特別支援学校(6回 延104名)、都立多摩桜の丘学園(1回 6名)、都立府中けやきの森学園(1回 3名)、都立武蔵台学園(3回 延60名)、国分寺市立第四小学校特別支援学級(2回 延41名)		5校	214名

(注) *国分寺市立第四小学校2年は3日間、6年は4日間に分けて受入れ。人数は全日数の合計。
*都立両国高等学校、都立小山台高等学校は2日間に分けて受入れ。人数は全日数の合計。

オ 生徒と図書館をつなぐ取組

中高生の参加を募り、図書館や読書に関する、ワークショップ、講演会等を行った。

内容(実施日)	実施場所	参加校数	参加者数
講演会「大宇宙、ブラックホールへの挑戦」(10月27日)*	多摩図書館	-	11名

(注) *企画展示関連講演会として実施。参加者数は全参加者中の中高生の人数。学校名は調査せず。

カ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(高校)	都立家庭・福祉高等学校(仮称)	図書館整備支援	中央図書館 多摩図書館	1校	-
(小学校)	国分寺市立第四小学校、 東京学芸大学附属世田谷小学校	資料貸出	多摩図書館	2校	-
(中学校)	都立大泉高等学校附属中学校	資料貸出		1校	-
(中高一貫 教育校)	都立南多摩中等教育学校(1~6年 32名)	出張ブックトーク		1校	32名
(高校)	都立小平西高等学校(3年 12名)、 都立世田谷総合高等学校(2~3年 32名)	出張読み聞かせ講座		2校	44名
	都立家庭・福祉高等学校(仮称)	選書支援		1校	-
	都立三宅高等学校、都立八王子拓真高等学校	資料貸出		2校	-
	都立青梅総合高等学校、都立大崎高等学校、 都立荻窪高等学校、都立鷺宮高等学校、 都立石神井高等学校、都立野津田高等学校	モバイル・ライブラリー (英語多読資料のセット 貸出)		6校	-
(特別 支援 学校 及び 特別 支援 学級)	都立永福学園(1回 42名)、 都立久我山青光学園(1回 16名)、 都立青鳥特別支援学校(1回 49名)、 都立青峰学園(1回 12名)、 都立立川ろう学校(1回 28名)、 都立多摩桜の丘学園(1回 86名)、 都立七生特別支援学校(1回 257名)、 都立八王子特別支援学校(1回 109名)、 都立八王子東特別支援学校(1回 32名)、 都立武蔵台学園(1回 30名)	出張おはなし会		10校	661名
	都立八王子西特別支援学校、 都立墨東特別支援学校、都立武蔵台学園	図書館整備支援		3校	-
	都立小平特別支援学校、都立田無特別支援学校、 都立多摩桜の丘学園、都立七生特別支援学校、 都立八王子西特別支援学校、 都立八王子東特別支援学校、都立文京盲学校、 都立墨東特別支援学校、都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談 会		9校	-
	都立八王子特別支援学校、 東京学芸大学附属特別支援学校	資料貸出	2校	-	

(注) ()内の記載について…小学校・中学校・高校・中等教育学校は、対象学年と参加者数を記載。
特別支援学校及び特別支援学級は、実施回数と参加者数を記載。

キ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布

1,057部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「TAMA selection」「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚の
アイデアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ひとりでよめるよ」「えほんかるた」
「ほん・本・ごほん」「ほん・本・ごほんクイズ」「ほん・本・ごほんブックトークシナリオ」

ク 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動 I (7月23日)	多摩図書館	200名
八王子市学校図書館 サポートセンター	学校司書研修会(8月21日)		27名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研修名	会場	回数	修了者数	
実務研修	転入職員等研修1	中央図書館	1回	16名	
	転入職員等研修2	多摩図書館	1回	13名	
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1回	2名
		(後期)	中央図書館・多摩図書館	1回	2名
	都立図書館職員研修 「カスタマーハラスメントの捉え方と対応」	中央図書館・多摩図書館	1回	121名	
	非常勤職員研修	多摩図書館	1回	10名	
	レファレンス実務研修	中央図書館	週1回	2名	
製本研修	I	中央図書館	1回	12名	
	II		1回	15名	

区分	研修名	主催	日数	受講者数
派遣研修	中堅職員ステップアップ研修 I	(公社) 日本図書館協会	6日間	3名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省・群馬県教育委員会	4日間	2名
	図書館司書専門講座	文部科学省・国立教育政策研究所	10日間	1名
	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1日間	1名
	ワークショップ「図書館員の未来準備」	株式会社未来の図書館研究所	4日間	1名
	ビジネス・ライブラリアン講習会	ビジネス支援図書館推進協議会	3日間	1名
	情報ナビゲーター交流会	ビジネス支援図書館推進協議会・機械振興協会経済研究所	1日間	1名
	2019年度研修交流会「法情報の調べ方」一日版	ロー・ライブラリアン研究会	2日間	2名
	第4回JMLAコア研修	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	2日間	1名
	日本病院ライブラリー協会研修会	日本病院ライブラリー協会	2日間	1名
	レファレンスサービス研修－科学技術情報を中心に－	国立国会図書館	2日間	1名
	レファレンスサービス研修－人文情報を中心に－	国立国会図書館	2日間	1名
	アジア情報研修	国立国会図書館・アジア経済研究所	2日間	2名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2日間	1名
	全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門	(公社) 日本図書館協会	2日間	1名
	日本古典籍講習会	国文学研究資料館・国立国会図書館	4日間	1名
	漢籍整理長期研修	東京大学東洋文化研究所附属東洋学研情報センター	10日間	1名
	サピエ研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会	2日間	1名
	障害者サービス担当職員養成講座(基礎コース)	(公社) 日本図書館協会	3日間	2名
	マルチメディアDAISY製作研修ChattyInfty3	日本障害者リハビリテーション協会	2日間	1名
	障害者へのICT活用研修 通常研修	日本障害者リハビリテーション協会	2日間	1名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会 第41回	(公財) 文化財虫菌害研究所	2日間	1名
	保存フォーラム 第30回	国立国会図書館	1日間	3名
	資料保存シンポジウム 第13回	情報保存研究会・(公社) 日本図書館協会	1日間	1名
	デジタル情報記録アドバイザー講座	(一社) デジタル情報記録管理協会	1日間	2名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	2日間	2名
	著作権セミナー	文化庁著作権課	1日間	1名
	広報セミナー	(公社) 日本広報協会	2日間	1名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（令和元年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 令和元年度版	令和元年7月	800部
東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 199～No. 204	平成31年5月 ～令和2年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 62～No. 64	令和元年6月 ～令和2年2月	各250部
【多摩図書館】		
乳幼児おはなし会ハンドブック	令和2年3月	1,500部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	令和元年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイディアカード集 冊子版	平成26年6月5日	152円	103部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	152円	2,278部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料及び東京都行政資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長祿年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、尺牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士 諸橋徹次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書。経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎から代々集積

された書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎の「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究者にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究者としても活躍した渡辺金造(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田亀鑑氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫（岡千仞〔鹿門〕氏旧蔵）の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫（宍戸昌氏旧蔵）の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤廉平氏（1848-1921）の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事

史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一（青淵）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏（1896-1963）がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

中山太郎氏（1876-1947）が収集した、正保2（1645）年から大正4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975年に木子清忠氏（1913-1995）から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

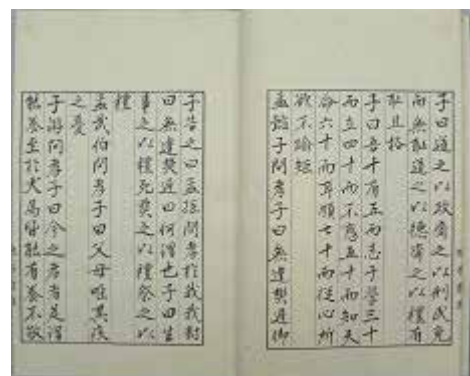
セ 新収資料 約 7,600 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。

論語 10巻4冊 ▶

渋沢栄一書 大正15（1926）年
青淵論語文庫 青15

渋沢栄一は論語を愛好し、平生の行為は論語を準則としたとされる。大正5（1916）年に実業界から完全に引退した後、論語がいかに多くの人に研究され愛読されたかを見るために、論語の収集を始めたと言われる。大正12年には論語手写の計画を立て、大正15年10月に全文の書写を終えた。掲出はその自筆本である。



(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体が編集発行された郷土資料など図書約 252,900 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 630 種、雑誌は約 2,130 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。その一部は1階中央ホールの「Books on Japan」コーナーに置いている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 173,200 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

国際化に対応し、在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他国の観光、都市、環境等に関する資料、オリンピック関連資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 72,000 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、

中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 23,800 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、令和2年3月末現在約 8,100 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 246,500 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 7,100 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

VII 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 29 期東京都立図書館協議会について

第 29 期の図書館協議会は、「都立図書館ならではのサービスを考える ― 保有する情報資源の一層の活用を目指して ―」をテーマとして協議し、令和元年度は定例会を 2 回、部会を 2 回開催した。

※第 3 回定例会の開催を令和 2 年 3 月 9 日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、延期とした。

< 定例会 >

第 1 回（令和元年 8 月 1 日開催）

- (1) 協議テーマの決定
- (2) 今後の協議の進め方及び作業部会の設置
- (3) 今後の協議スケジュール

第 2 回（令和元年 11 月 26 日開催）

- (1) 新しい技術を活用したサービスについて
(第 1 回新しい技術を活用したサービス部会報告)
- (2) 平成 30 年度東京都立図書館自己評価について

< 新しい技術を活用したサービス部会 >

第 1 回（令和元年 10 月 10 日開催）

第 2 回（令和 2 年 1 月 23 日開催）

3 第 29 期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 令和元年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日）

氏 名（五十音順）	職 名（令和 2 年 3 月現在）
伊 藤 稔	公募委員
内 田 剛 史	株式会社ミュージアムメディア研究所代表取締役
江 草 由 佳	国立教育政策研究所研究企画開発部教育研究情報推進室統括研究官
岡 田 芳 典	青梅市教育委員会教育長
小 田 光 宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授
久 我 尚 子	株式会社ニッセイ基礎研究所生活研究部主任研究員
高 口 太 朗	LINE 株式会社シニアデータサイエンティスト
鳥屋尾 史 郎	東京都立桜修館中等教育学校統括校長
松 本 直 樹	慶應義塾大学文学部人文社会科学科図書館・情報学専攻准教授
結 城 智 里	一般財団法人機械振興協会経済研究所 BIC ライブラリ 情報創発部調査役
渡 部 理 枝	世田谷区教育委員会教育長

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期 間	答申等年月	答 申 等
第 1 期	昭和 35 年 2 月 ～昭和 37 年 1 月	昭和 37 年 2 月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第 2 期	昭和 37 年 2 月 ～昭和 39 年 1 月	昭和 38 年 7 月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第 4 期	昭和 41 年 3 月 ～昭和 43 年 2 月	昭和 43 年 2 月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第 6 期	昭和 45 年 4 月 ～昭和 47 年 3 月	昭和 46 年 12 月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第 8 期	昭和 47 年 7 月 ～昭和 49 年 6 月	昭和 49 年 6 月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方 (答申)
第 11 期	昭和 55 年 9 月 ～昭和 57 年 9 月	中間答申 昭和 56 年 6 月 最終答申 昭和 57 年 5 月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第 15 期	昭和 63 年 10 月 ～平成 2 年 10 月	中間答申 平成 2 年 3 月 最終答申 平成 2 年 10 月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第 16 期	平成 3 年 1 月 ～平成 5 年 1 月	平成 4 年 12 月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第 17 期	平成 5 年 4 月 ～平成 7 年 4 月	平成 7 年 3 月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について (意見具申)
第 18 期	平成 7 年 7 月 ～平成 9 年 7 月	平成 9 年 3 月	21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第 19 期	平成 9 年 11 月 ～平成 11 年 10 月	平成 11 年 10 月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第 20 期	平成 11 年 11 月 ～平成 13 年 10 月	平成 13 年 10 月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －IT を活用したサービスの革新－ (提言)
第 21 期	平成 14 年 4 月 ～平成 16 年 3 月	平成 15 年 3 月 平成 16 年 2 月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか (提言 1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言 2)
第 22 期	平成 16 年 10 月 ～平成 18 年 9 月	平成 18 年 3 月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第 23 期	平成 18 年 12 月 ～平成 20 年 11 月	平成 20 年 11 月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第 24 期	平成 21 年 5 月 ～平成 23 年 4 月	平成 23 年 3 月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第 25 期	平成 23 年 5 月 ～平成 25 年 4 月	平成 25 年 3 月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第 26 期	平成 25 年 5 月 ～平成 27 年 4 月	平成 27 年 3 月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第 27 期	平成 27 年 7 月 ～平成 29 年 6 月	平成 29 年 2 月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020 年とその先に向けた提言－ (提言)
第 28 期	平成 29 年 7 月 ～令和元年 6 月	平成 31 年 3 月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 平成28年11月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2-1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2-2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかつた場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

別表第1(第4条、第11条関係)

館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間	月曜日から 金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び 日曜日	午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始	1月1日から同月3日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の 保守点検日	毎月1日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から 金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その 日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び 日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分		使用単位	金額	
施設	セミナー ルーム	分割しないで 使用するとき。	午前	8,100円
			午後	10,800円
			夜間	8,100円
			全日	27,000円
	分割して使用 するとき。	1	午前	4,200円
			午後	5,600円
			夜間	4,200円
			全日	14,200円
		2	午前	3,800円
			午後	5,100円
			夜間	3,800円
			全日	12,800円
	講師控室	1	午前	300円
			午後	400円
夜間			300円	
全日			1,000円	
2		午前	300円	
		午後	400円	
		夜間	300円	
		全日	1,000円	
附帯 設備	音響映像操作機器	一式1回	2,900円	
	液晶モニター	一式1回	120円	
	プロジェクター	一式1回	840円	
	ワイヤレスマイクセット	一式1回	240円	

(別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。)

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画-1972-に組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更:東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

- 昭和 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
 10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
 12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第17期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
 「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第18期東京都立図書館協議会答申)
10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立3館)
 7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか?－社会問題への図書館の関わり方」(第19期東京都立図書館協議会提言)
 11 「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)
 東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
 都立図書館ホームページ開設
 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－ITを活用したサービスの革新」(第20期東京都立図書館協議会提言)
- 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」(都立図書館あり方検討委員会報告)
 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
 都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第21期東京都立図書館協議会提言1)
 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第21期東京都立図書館協議会提言2)
 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第22期東京都立図書館協議会答申)
 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース(G-Searchサービス)の有償提供の試行開始
 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正
 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

ついて合意

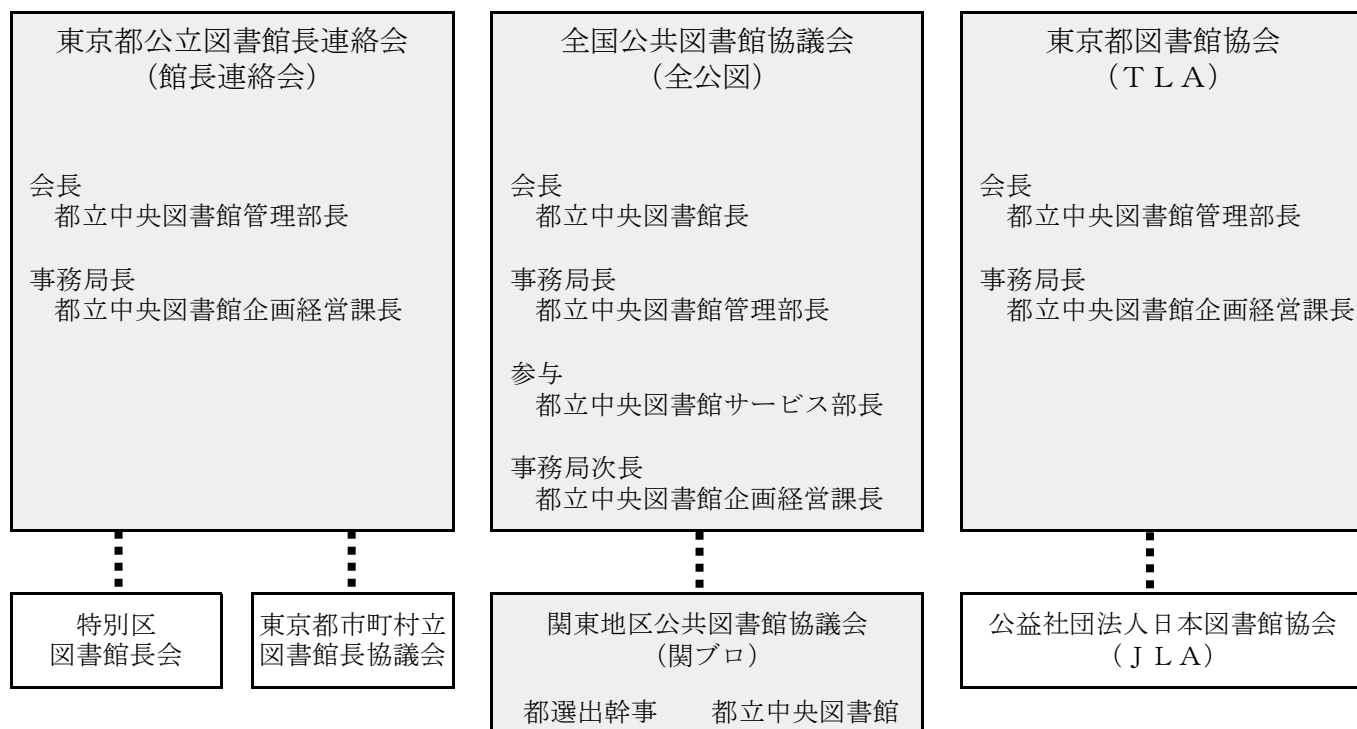
- 平成 20. 11 都立図書館創立 100 周年<明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館>
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
- 12 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
 - 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
 - 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
 - 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
 - 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
 - 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
 22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
 - 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
 - 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
 23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
 - 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
 - 11 東京都立図書館 Twitter を開始
 - 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
 24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
 - 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
 25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
 - 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して—より質の高い図書館サービスの追求—」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
 - 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
 - 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
 26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
 - 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
 27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
 - 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
 - 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
 - 7 都立中央図書館 カフェコーナーを 1 階にオープン
 28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
 - 8 都立多摩図書館建設工事竣工
 - 10 「東京都立図書館条例」、「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 - 12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
 29. 1 都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）
 - 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して—2020 年とその先に向けた提言—」（第 27 期東京都立図

書館協議会提言)

- 平成 29. 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」 試行的実施
- 11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始
都立中央図書館 「キッズルーム (授乳室付き)」を開設
都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書国際交換に伴う贈呈式を実施
30. 2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催
3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設
6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして1階に移転
9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設
10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」(浜離宮恩賜庭園)に出展
31. 2 平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書を発行
31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」(第 28 期東京都立図書館協議会提言)
- 令和 元. 7 都立図書館ホームページに「平成 30 年度都立図書館のニーズに関する実態調査報告書」と「平成 30 年度都立図書館利用実態・満足度調査」報告書を掲載
- 10 令和元年台風第 19 号の関東地方上陸により、10 月 11・12 日を臨時休館とする。
2. 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2 月 29 日から 5 月 31 日までを臨時休館とする。
(2 月 29 日から 5 月 7 日まで 事前予約制による複写サービスを実施)

3 図書館関係団体・組織一覧

(令和2年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会 (館長連絡会)

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱(17中図管企第74号)により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会 (全公図)

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会 (TLA)

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会 (関ブロ)

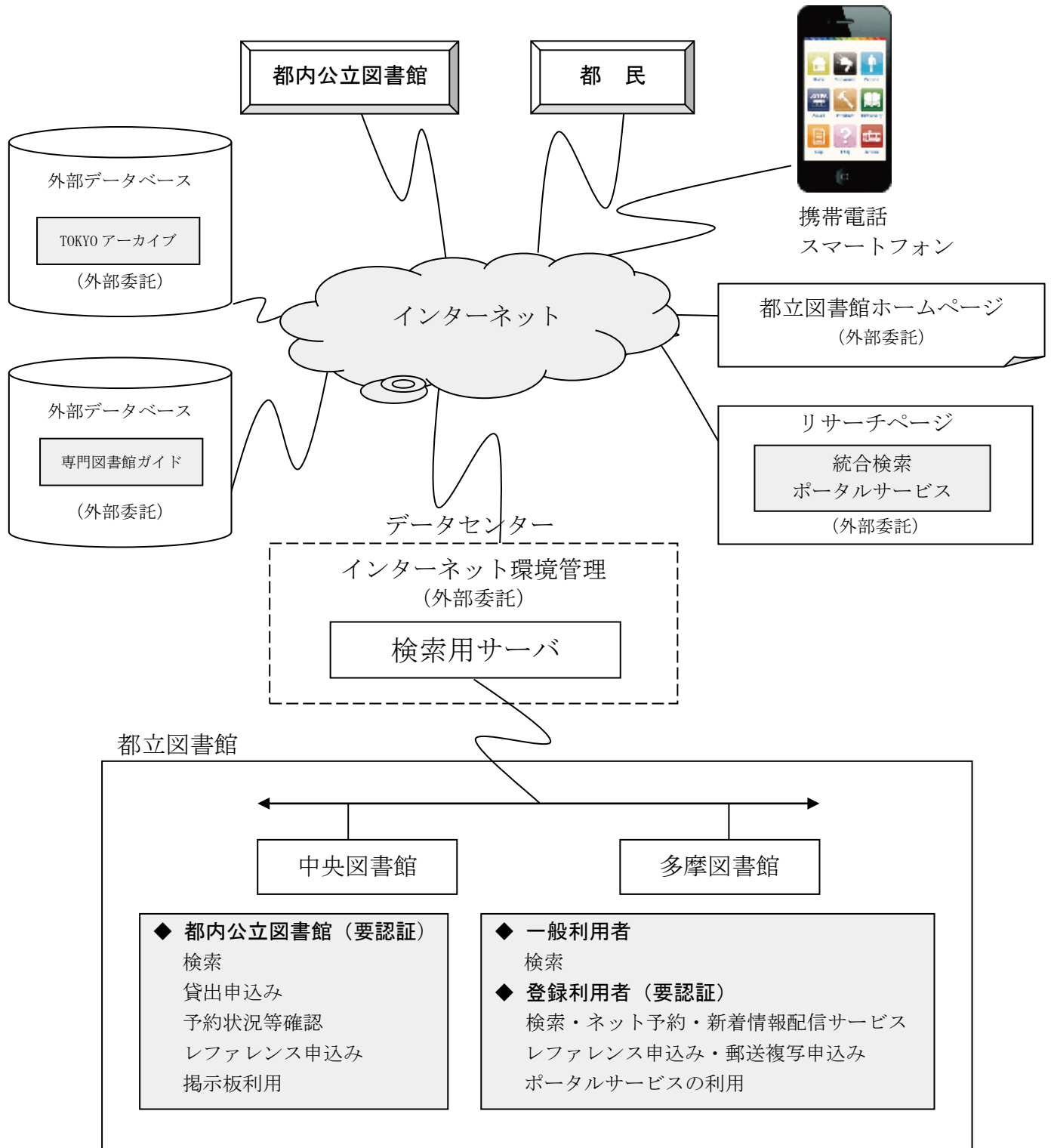
関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員(都選出幹事)として参画している。

4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和 63 年 3 月～

第2期 (METLICS II) : 平成 12 年 2 月～ 平成 17 年 6 月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成 23 年 12 月～ 平成 28 年 12 月に機器更新



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 7 台
- ・ クライアント : 231 台
- 業務用 : 138 台 (中央 105 台、多摩 33 台)
- 利用者用 : 93 台 (中央 66 台、多摩 27 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/>



携帯電話等からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/feature_phone/index.html
- スマートフォンからの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.lg.jp/winj/sp/top.do>

東京都立図書館 Twitter

https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊展示コーナー

東京 2020 大会に向けて情報発信を行う展示コーナーです。オリンピック・パラリンピックの歴史や過去の大会の記録、競技種目などを紹介する「オリンピック・パラリンピックコーナー」、江戸・東京の歴史や文化を紹介する「伝統・文化コーナー」、海外から見た日本を紹介する「Books on Japan (日本に関する洋書コーナー)」の3つで構成されています。

○ 重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。また、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約 170 冊を置く「介護応援コーナー」を設置しています。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約 900 冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌 13 誌も備えています。

過去の新聞(約 500 紙)や、一般週刊誌以外の雑誌(約 4,000 誌)、マイクロ資料は、すべて書庫にあります(雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります)。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料(都・区市町村発行)及び東京に関する資料を集め提供しています。

また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を9つのテーマで配置するとともに、国内の政



▲中央図書館



▲展示コーナー



▲都市・東京情報コーナー

令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約 39,000 冊です。

○ 音声・映像コーナー

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、17,882 点を所蔵しています（4 席）。

○ カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2階

○ 社会・自然科学系 資料・閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3階

○ 人文科学系 資料・閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」は、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

さらに、平成 30 年 9 月にはコミックコーナーを開設しました（一部新刊は 1 階に配置）。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ 視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デージー図書を含む。）6,098 点、点字図書 705 点、点字雑誌 10 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4階

○ 閲覧室

ほぼ全席がパソコン用の電源のある席で、公衆無線 LAN が利用できます。

○ 企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ グループ閲覧室

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ 多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5階

○ 閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ グリーンビューシート

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です。（12 席）

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p. 30～31 参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席で無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます。（19 席）

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながら調査研究を行ったり、異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます。（36 席）

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、キッズルームにはおすすめの絵本を、授乳室には授乳用の椅子やおむつ交換台を用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1 階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1 階から 3 階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1 階から 4 階の閲覧席、5 階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）

1 階から 4 階の閲覧室、5 階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。

◆ デジタルサイネージ

各階にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ 案内ホットライン

2 階及び 3 階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1 階受付で、車椅子の貸出しをしています。
- ・ 1 階新聞閲覧コーナー、2 階資料・閲覧室、3 階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1 階と 2 階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3 階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1 階と 4 階に AED を設置しています。

【各階の閲覧席数】

1 階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2 階	資料・閲覧室	194
3 階	資料・閲覧室	276
4 階	閲覧室	160
	グループ閲覧室	24
5 階	閲覧室	72
	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

【建 物 概 要】

昭和 47 年 3 月	竣工
昭和 48 年 1 月	新築、開館
平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月	施設・設備改修
平成 20 年 5 月～12 月	施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 5 階、地下 2 階
敷地面積	9,157.21 m ²
延べ床面積	延 23,196.21 m ²
収蔵可能冊数	約 208 万冊（うち、開架 35 万冊）
閲覧席	916 席（スツール席含め、1,062 席）
敷地内全面禁煙	

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。



▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,200 冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 23,300 冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 8,700 冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,000 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ デジタルサイネージ

エントランスと閲覧室にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出しをしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

【建 物 概 要】

平成 28 年 8 月	竣工
平成 29 年 1 月	移転開館
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 3 階
敷地面積	7,216.74 m ²
延べ床面積	延 8,982 m ²
収蔵可能冊数	約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
閲覧席	227 席
敷地内全面禁煙	

8 案内図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日から1月3日まで



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布5-7-13（有栖川宮記念公園内）
電話 03-3442-8451（代）

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・都バス 橋86系統 目黒駅前～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・港区コミュニティバス（ちいばす） 麻布西ルート 97 愛育クリニック

多摩図書館

雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・京王バス 寺85系統（総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地） いずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ぶんバス 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート 西国分寺駅東 徒歩4分

事業概要 令和2年度版


登録番号(2)第1号

主要刊行物指定

令和2年7月30日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館
〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号
電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 株式会社 能登浦

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

